

Whole Person Care研究会 & 富山大学医学部FD・併催

第4回

富山大学臨床講義室1 オンラインとオンサイト同時開催予定・参加無料
状況によりオンライン開催のみになる可能性があります

2021 8月7日土 13:30-16:30

Whole Person Careの事例検討とマインドフルネスの教育

総合司会：石木 学（杉谷キャンパス保健管理センター）・開会挨拶 富山大学医学部長

第一部 13:30-15:00 「Whole Person Careの事例提示」

第4回大会長 三原弘（医師キャリアパス創造センター）

グループワーク「Whole Person Careに近づくためにできること」

パネルディスカッション「Whole Person Careの視点」

司会：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 暮らしき総合診療医学教育講座 三好智子先生

パネリスト

富山大学 総合診療科 北啓一朗先生

市立東大阪医療センター 緩和ケアセンター 進藤喜予 先生

第二部 15:10～16:30 「エクササイズと瞑想によるマインドフルネス」

熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学寄付講座 谷口 純一先生

総合討論

閉会挨拶 恒藤 暁先生（京都大学大学院医学研究科）

第一部 13:30-15:00

「Whole Person Careの事例提示」

第4回大会長 三原弘 (医師キャリアパス創造センター)

COI : ありません

参加ルール

- ・ お互い非難にならないように配慮しましょう
(No blame rule)**
- ・ 建設的なコメントをお願いします**
- ・ 不適切な言い方に気付かれたら、チャット欄で司会者にフィードバックをお願いします。**
- ・ 以上に気をつけながらも積極的な意見交換をお願いします。**

登場者（仮名）：一部修正の上、事例提示
させて頂くことに許可を頂き感謝します。

田中さん 70代、女性、一人暮らし
高血圧症、解離性障害、変形性腰椎症、
顎関節症などで医療機関を点々。2015年
痛み止めによる胃潰瘍、2016年胃ポリー
プ（過形成性）を指摘され、終診。

（癌の可能性は完全には否定できない）

患者さんの長男 50代？
遠方で多忙で夏と正月しか富山に
来れ
電話してもつながらず。

同僚 立山医師 40代、男性
消化器内科医

内視鏡室看護師 富山さん 30代、女性



外来医 山田医師 40代、男性
消化器内科医
臨床、研究、教育に加えて管理
業務が増加 (マルチタスク)

1. 時間がない
2. 早くやらなきゃ
3. 遠方の家族とトラブルが
4. 「解離性障害」
5. 目的は？

癌を切って

入院中、家の猫が心配です。

処方出して

学生です。カルテの書き方教えて。

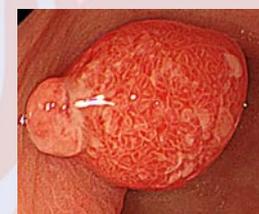
開業医で診ていた患者さん診て

地方会に演題出して

午後の委員会に出て



2017年7月 ポリープ切除について相談
したいとのことで受診。貧血なく、経過
観察を勧めた。

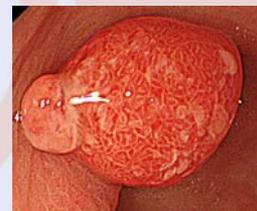


2017年12月 4kg体重減少のため総合
診療科に受診し、胃ポリープ増大傾向の
ため再診となった。

2018年6月 一旦、入院の上切除予定と
したが、息子が遠方・多忙で説明できず。
電話かけるも出られず（本人からも、忙
しく、かけないで欲しいと言われる）。
長男から後日外来に問い合わせ電話あり。
「県外で受診は難しく、どのような状況
か聞きたい。8月なら富山に戻れる」



長男と本人の相談により、内視鏡的切除はキャンセルとなった。



2018年8月 長男が予約外で来院されたがあいにく、外来医は不在で、立山医師から「縮小しないポリープで、癌の可能性もある」



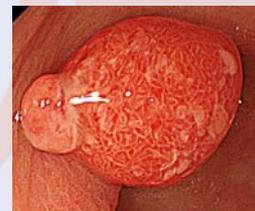
2018年9月 本人は切除したい。長男は年末年始なら付き添える。



2019年4月 胃カメラ後、「変化はないが胃癌の可能性は否定できない」という説明後に、腰痛が出現し、「本人より、胃カメラ時に看護師が腰を押さえたのが原因で腰痛が発生した」との訴えあり。



サポートセンター、医療安全による調査が行われ、
関連はないとされたが、



後日、医療安全からの聞き取り、外来医とともに患者との話し合い会に参加し、



それ以降、患者の固定に力を入れるのが怖くなった。
また、義務はないが賠償保険に加入した。

2019年6月 夜間嘔吐あり、救急車要請。

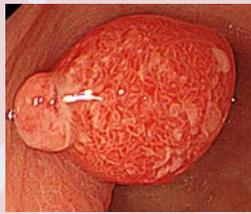


2020年 山田医師 Whole Person Careに出会う
重要な気づき

- ・田中さんは、祖母とご主人（60歳）を胃がんで亡くしておられた。
- ・長男の職業等、詳細に伺ったところ、夏・年末年始しか移動できず、日中電話にも出にくい状況が了解可能となった。



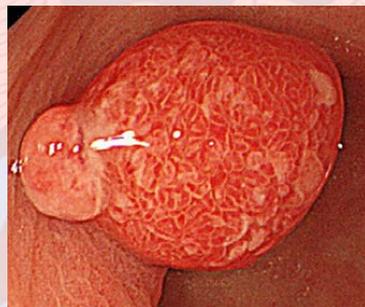
1. 時間がない
2. 早くやらなきゃ
3. 遠方の家族とトラブルが
4. 「解離性障害」
5. 目的は？



1. ゆとりを持つ
2. ゆっくり行う
3. 注意を集中
4. 今、ここに
5. 楽しみ、重要な目的



【相談内容】



- 1) 「過去のトラブル経験」や、「次の業務」に惑わされず目の前に集中するには？
- 2) 「多忙」がトラブルの元ですが、「多忙」にどう向き合えばよいですか？
- 3) 「不安の強い患者さん」に医療者はどう接するのがよいですか？